



## 今年度の輝南祭文化の部では、「ビブリオバトル」を実施します!!

輝南祭体育の部が終わり、子供たちは一息つく間もなく、10/6（木）には定期テストが実施されました。特に3年生は、進路決定を控えていることもあり、緊張している様子でしたが、テストが終わると、緊張がほどけ、いつもの根南中生の明るい笑顔が見られました。

例年であればこの時期は、輝南祭文化の部に向けて、各学年で合唱練習に励んでいるところですが、新型コロナウイルスの影響で、その練習に取り組んでいくことができませんでした。

合唱ができない代わりに何を実施するか……。生徒会本部の生徒や先生方が議論を重ね、今年度は「ビブリオバトル」を実施することになりました。「ビブリオバトル」について、どのようなものかご紹介します。

- ①発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ②順番に1人5分間で本を紹介する。
- ③それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
- ④全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

(知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト

<https://www.bibliobattle.jp/home> より)

既に国語の授業などで何度か行われていますが、子供たちも非常に楽しそうに参加していました。

「ビブリオバトル」をきっかけに、友達が紹介した本に興味をもち、今まで以上に読書に親しむ生徒も増えています。

輝南祭文化の部では、3年生3名、2年生2名、1年生1名の代表者による「ビブリオバトル」を各教室に配信する計画ですが、それぞれのご家庭でも、子供たちがどのような本に興味をもっているのか、読書についてぜひ話題にしてみてください。



## 伊藤彰洋先生による1年生数学の授業の様子

前号では、1年生の音楽の授業の様子をご紹介しましたが、本校の先生方は、毎時間様々な工夫を凝らしながら授業を実践しています。今号から、普段の授業の様子をご紹介していきます。今号では、4名の先生方の授業をご紹介します。

伊藤先生による1年生の数学の授業の様子



まずは、伊藤彰洋先生による、1年生の数学の授業の様子です。

この日は文字式の学習をしていました。伊藤先生の授業では、子供たちが自分なりの意見をつぶやき、それを伊藤先生が上手く拾い上げ、他の生徒に問いかけていく様子がさかんに見られます。

また、学習課題について必死に考えている生徒が、自分で考えることに行き詰まると、周りの友達のことを参考にしようと、自然と意見交換を始めました。その意見交換の中で、自分の発想になかった新たな考えに気づき、学びを深めた時の生徒の表情はとても生き生きとしていました。

そのように、伊藤先生の授業では、生徒が自由に、安心して発言したり、友達と意見を交換し合えたりする雰囲気があり、子供たちも充実した表情で授業に取り組んでいます。自分一人で考える場面と、仲間と一緒に協働しながら考える場面が、共に見られた授業が展開されていました。



## 中野浩二郎先生による1年生地理、佐野哲平先生による3年生公民の授業の様子

次は社会科の授業をご紹介します。

まずは、中野浩二郎先生による1年生の地理の授業です。

この日は、「中国は世界一の人口に対して、何をしているだろうか。」という学習課題で授業が展開されました。中野先生の授業では、すべての生徒が学習課題に対して自分なりの意見を確実にもった上で、授業が展開されています。子供たちは、教科書や資料集、これまで学んだ知識などを参考にしながら、「多くの食料が必要」「自然を切り崩し、まちづくりを進めている」などの自分なりの考えを発言していました。

自分の考えをしっかりとつとめて、学びが深まっています。中野先生の授業では、自分の考えをもった上で、他の生徒の考えを聞き、学びを深め



中野先生による1年生の地理の授業の様子



佐野先生による3年生の公民の授業の様子

る生徒の姿が見られました。

一方、佐野哲平先生による3年生の公民の授業では、子供たちがグループワークでさかんに意見交換をしていました。この日は人権についての学習を進めていました。社会科では、様々な視点から物事を見たり、考えたりする「多面的・多角的な見方・考え方」が大切にされています。グループの友達の意見を聞くことで、自分の発想になかった見方や考え方に気づき、さらに新たな見方や考え方が生まれていきます。

伊藤先生の数学の授業同様に、個別で学ぶ場面と、仲間と共に協働的に学ぶ場面の両方の場面の充実が、中野先生と佐野先生の授業からうかがうことができました。

## 小林久剛先生による3年生音楽の授業の様子

最後は音楽の授業の様子です。例年であれば、合唱の授業に取り組む時期ですが、それが難しいため、感染拡大に配慮しつつ、子供たちの資質・能力をはぐくむことができるような授業を考案していかなければいけません。

小林久剛先生は、音楽に合わせて拍手をしたり、足踏みをしたりする教材をICT機器で投影し、クラス全体で取り組めるように工夫していました。

リズム感をはぐくむことができるのはもちろんですが、非常に印象的だったのは子供たちの表情です。上手くリズムがあった時に、周りの友達と笑顔でハイタッチをして喜ぶ姿は、非常に微笑ましい光景でした。新型コロナウイルスの影響で、音楽の授業でも実践できる内容に様々な制限がありますが、子供たちは工夫を凝らした小林先生の音楽の授業を毎回楽しみにしています。



小林先生による3年生の音楽の授業の様子

## 富士根南中学校ホームページのご紹介

本校のホームページでは、さまざまな情報や学校の様子を公開しています。

以下のURL、もしくはQRコードからご覧ください。

URL

<http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/jh-school/05fujineminami/>

